

V シカ等野生動物の保護管理

<主要施策の取組状況>

1 奥山域（シカ管理計画における自然植生回復エリア）でのシカ生息密度低減

①重点 奥山域におけるシカの管理捕獲（Ⅰ-2-①）

- ・ Ⅰ-2-①に記載のとおり

②植生保護柵等の効果的設置（Ⅰ-3-①、②、Ⅵ-2-①）

- ・ Ⅰ-3-①、②、Ⅵ-2-①に記載のとおり

2 山地域（シカ管理計画における生息環境管理エリア）での森林整備とシカ管理の連携

①重点 森林整備とシカ管理の連携（Ⅱ-2-①）

- ・ Ⅱ-2-①に記載のとおり

3 里山域（シカ管理計画における被害防除対策エリア）での被害対策の推進

①シカの定着の解消のための捕獲（Ⅲ-1-①）

- ・ Ⅲ-1-①に記載のとおり

②地域が主体となった被害対策等の推進（Ⅲ-1-①）

- ・ Ⅲ-1-①に記載のとおり

4 野生動物の保護管理手法の検討

①FS 野生動物の保護管理手法の検討

- ・ ニホンジカ保護管理検討委員会〔年1回開催〕において、ニホンジカの調査、モニタリング、管理手法について、科学的な視点で検討した。
- ・ ニホンジカについては、個体数調整、生息環境整備等の事業の効果を把握するため、個体数調査、個体分析などの生息状況等調査やニホンジカの植生への影響を把握する生息環境調査を実施した。また、県によるニホンジカの管理捕獲を継続している箇所では、捕獲効率の低下が見られていることから、さらなる効率的な捕獲手法の検討を行った。
- ・ 事業の効果検証や計画見直しに必要なニホンジカの生息状況に関する基礎的なデータが得られた。また、定期的な巡視により生息状況調査を実施したうえで捕獲するなど、効率的な捕獲手法の検討を進めた。

